

山のリスクと向き合う

草加山の会 **2016/9/15** 勉強会資料

講師：山口

リスクとは

ある行動に伴って(あるいは行動しないことによって)、危険に遭う可能性や損をする可能性を意味する概念

日本語ではハザードとともに「**危険性**」などと訳されることもある。ハザード潜在的に危険の原因となりうるものを指し、リスクは実際にそれが起こって現実の危険となる可能性を組み合わせた概念。

ハザードがあるとしても、それがまず起こりえないような場合ではリスクは低くなるが、起こる確率は低くても起こった場合の結果が甚大であればリスクは高く見積もられる。

(ウィキペディアより)

ハザードはリスクと直結しない

ハザードは**リスク**の素になる

ハザードがあるだけでは**リスク**は生まれない

ハザードに対面した時に**不適切な行動**を取ること
で**リスク**は生まれる

例えば・・・

- ・急斜面な岩場（ハザード）がある
- ・そこを**技量不足**（**不適切な行動**）の人が通る
- ・**滑落**（**リスク**）の可能性が生まれる

ハザードとリスクの関係

ハザード

岩場、ザレ場、斜面、天候、動物、虫...

不適切な行動

不注意、技量不足、ボーとする、早足、疲れ、水分不足...

+

=

リスク

転倒、滑落、道迷い...

ハザード: 潜在的に危険の原因となりうるもの

不適切な行動: ハザードに対応する行動を取らないこと

リスク: 実際にそれが起こって現実の危険となる可能性

不適切な行動の要因

不適切な行動に関連する事項を体系的にまとめると5つ

ソフトウェア

規則・ルール・計画・予定・事前準備
破ったり、怠ることでリスクは高くなる

ハードウェア

登山装備・山の施設
適切な装備や回避場所がリスクを軽減

環境

天候・季節・登山道の様子
甘く見ていると大きなリスクになる

本人

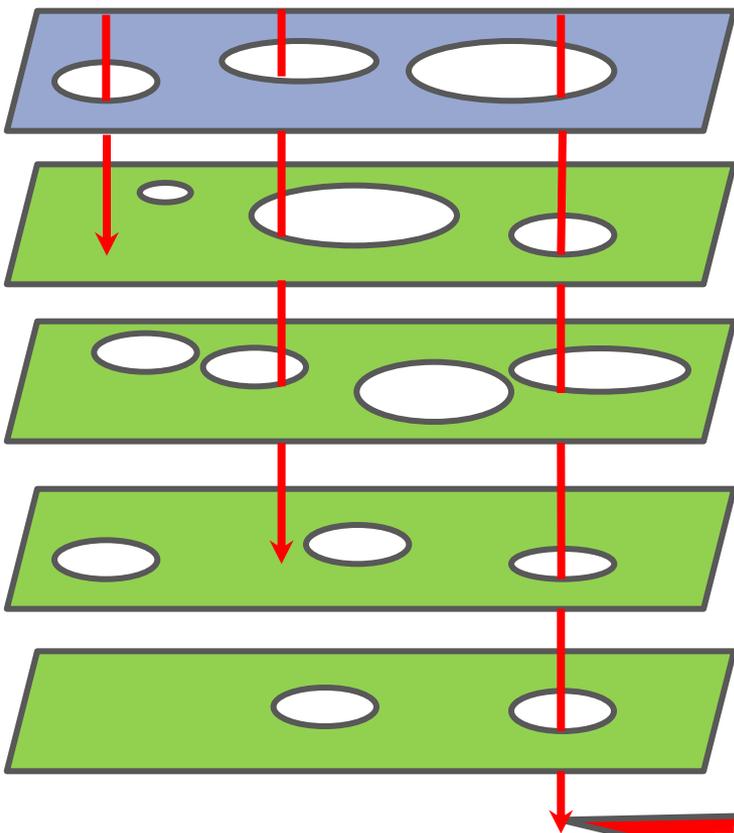
体力・技術・体調・疲労・病気・心理状況
ハザードに対抗できないと事故につながりやすい

他者

同行者の体力・技術・体調・疲労・病気
本人と同じ、また人間関係もリスク増大に繋がる

リスクから事故が起こる過程

ハザード・不適切な行動の積み重ねでリスクが増大すると、ある時点で事故が起こる



ザレた岩場（ハザード）

よろめく

石につまづく

石が転がる

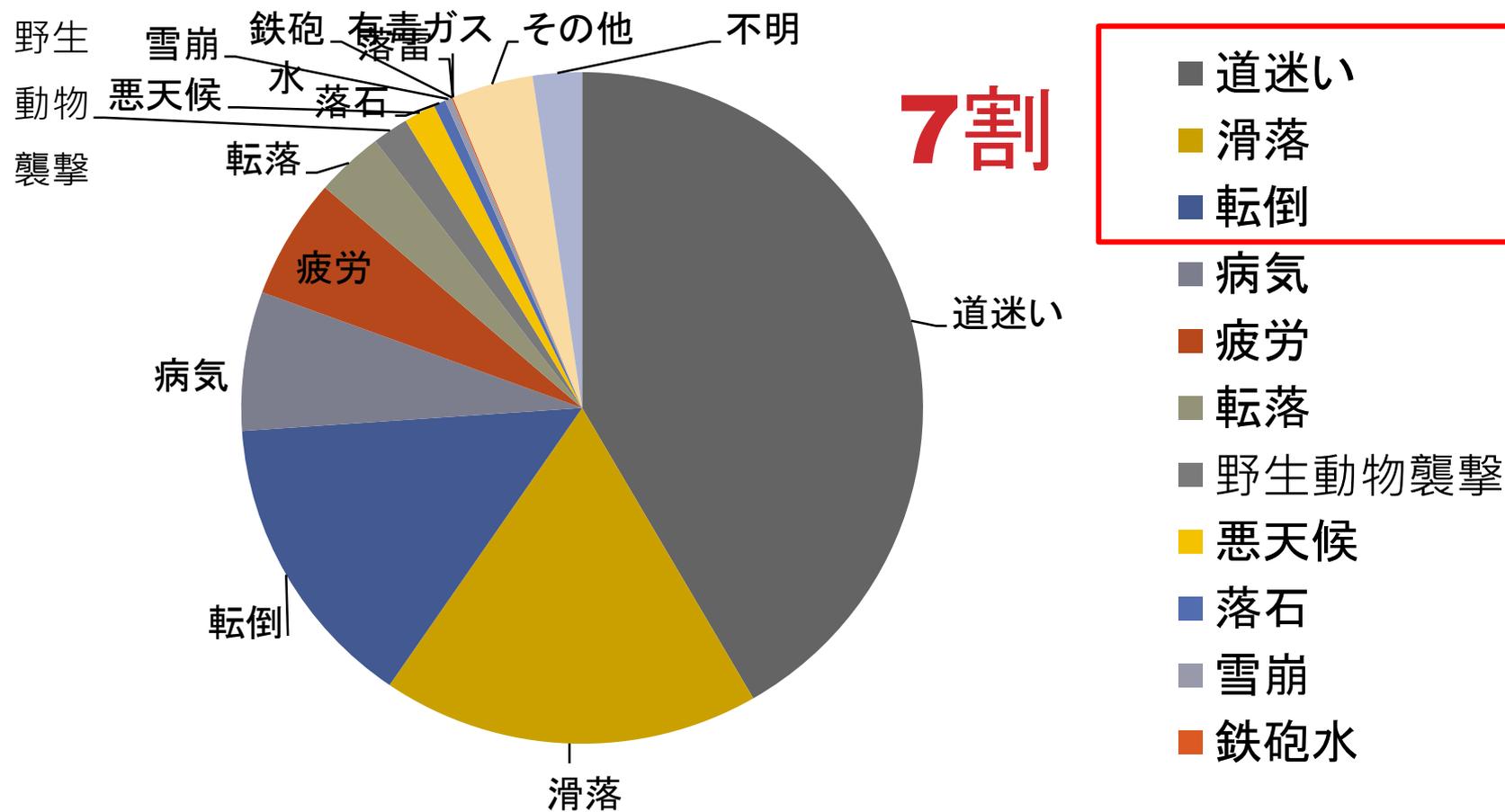
下に登山者がいる

落石で頭を打ち大怪我

リスクが事故へ(昨今の遭難)

平成26年度の態様別山岳遭難者

警察庁『平成26年中における山岳遭難の概況』(2015年6月)



リスクとどう向き合うか

登山をする以上、常に大なり小なりリスクとは向かい合わなければならない

リスクを認識し、リスクに対する適切な判断を行い、リスクを管理する

リスクマネジメント

- ・リスクに直結するハザードをしっかりと認識する
- ・ハザードに対する正しい対処を行う
- ・ハザードに対する不適切な行動を防止する
- ・リスクの度合いを推論し許容内であるか

リスクを探そう①

秋の黒部下ノ廊下を歩く



リスクを探そう②

夏の北海道斜里岳 沢沿いを歩く



リスクを探そう③

春の両神山 八丁尾根を歩く



リスクを探そう④

夏の大雪山 高根ヶ原を歩く



リスクを探そう⑤

冬の西吾妻山 雪の平原を歩く



リスクを探そう⑥

秋の雲ノ平 木道を歩く

